

市役所におけるユニバーサルデザインの主な取組み ～男女共同参画の推進～

1 趣旨

ユニバーサルデザインのまちづくりにおける基本的な目標に掲げる、「男女共同参画の推進」をテーマに、松本市におけるユニバーサルデザインの取組みを整理するものです。

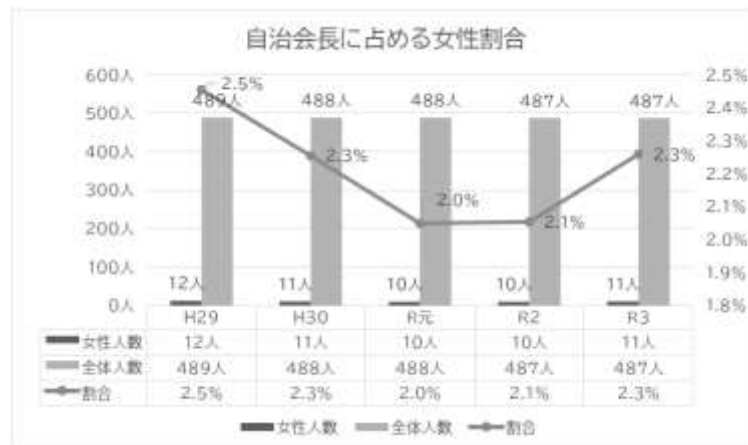
2 「男女共同参画の推進」の位置づけ

ユニバーサルデザイン推進基本指針では、「男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる社会をつくるため、ユニバーサルデザインの考え方により、市民、行政、民間団体、事業者が共通認識のもと、一体となった取組みを進めることにより、男女共同参画社会の形成をめざします。」としています。

3 現状

松本市においては、自治会長に占める女性の割合は2.3%（R4. 3.31）であること、市役所の管理的地位にある職員に占める女性職員の割合は14.4%（R4.4.1）であることなど、女性の社会参画はまだまだ低い状況にある。

また、国としても、世界経済フォーラムが公表している各国のジェンダーギャップ指数の日本のランクは、146カ国中116位と、先進国では、最低レベルにある。



自治会長に占める女性の割合

4 最近の主な取組み

(1) ジェンダー平等に向けた取組み

ア 差別をなくし多様性を認め合うまちまつもと条例（案）の制定

「松本市部落差別をはじめとするあらゆる差別撤廃と人権擁護に関する条例」を全

部改正し、「差別をなくし多様性を認め合うまちまつもと条例」(案)を市議会に提出
第2条では、「一人ひとりが多様な個性を持つ存在であり、年齢、性別、人種、国籍、民族、信条、出自、障がい、性的指向、性自認、感染症等の疾病その他の事由にかかわらず、個人として尊重されること」を基本理念に掲げ、多様性推進を条例化

イ 第5次松本市男女共同参画推進計画・女性活躍推進計画の策定

政策決定や地域・職域また防災活動や避難所運営といったあらゆる分野において、男女共同参画の視点を取り入れ、性別に基づく固定的な役割分担意識やアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の解消に取り組み、人生を豊かにするための就業支援やワーク・ライフ・バランスを推進



サザンガクのテレワークスペース

→新規取組みとして、女性デジタル人材育成、女性管理職・役員育成、企業向け啓発等のセミナーや講座等を実施予定

ウ 女子野球タウン事業

女子野球の振興を図るととともに、スポーツにおけるジェンダー平等の推進のため、令和3年5月に「女子野球タウン」に松本市が認定。令和4年10月に、全国トップレベルの女子野球チームを招いて、「松本ローズカッププレ大会」を開催。そのほか、ジェンダー平等社会の推進のためのフォーラム開催や女子野球の普及に向けた野球教室などを開催



女子野球教室の様子

→スポーツにおけるジェンダー平等を推進

(2) 性の多様化に対応した取組み

ア パートナーシップ宣誓制度

令和3年4月より制度導入。婚姻のような権利や義務は発生しないものの、二人が互いを人生のパートナーとして日常生活において協力し合う関係であることを宣誓することで、生きづらさや悩みが少しでも解消され、このまちで暮らし続けながら、個性や能力の発揮につながることを期待するとともに、地域社会にLGBTQ(性的マイノリティ)の方への理解が進み、性別にかかわらず、市民一人ひとりがかけがえない個人として尊重される、多様性と活力に満ちたまちの実現につなげていく。

→これまで8組が制度を利用。

令和4年12月に同様の制度を導入した長野市と都市間連携協定を締結し、転入の手続きの負担軽減を推進

イ 小中学校トイレの多目的トイレ改修

小中学校のトイレ洋式化に合わせ、性の多様性に対応するため、小中学校への多目的トイレの設置を推進（R4年度は既存設備の改修、R5年度以降は順次新規設置を予定）



改修した小中学校多目的トイレ(令和3年度開智小学校)

ウ 新しい施設における多目的トイレ設置

施設の新設にあたっては、性の多様性や子育てニーズ、障がいや病気への対応などを考慮した時代にあったトイレの設置を推進



新市立博物館多目的トイレ